

## 平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	地域とスポーツ(Area sports)	授業コード	E028551
担当教員名	竹田 隆行	科目ナンバリングコード	E20703
配当学年	2	開講期	後期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	他の科目を履修していなくても、この科目だけで理解できる内容になっています。ただし、2/3以上の出席がなければテストを受けることができません。		
受講心得	スポーツに対しては、各人がそれぞれのこだわり、考え方を持っています。こだわりは必要ですが、そこから新しい考えは生まれてきません。ゼロベースで物事を考える重要性を学んでもらいたいです。		
教科書			
参考文献及び指定図書	スポーツ産業論 第6版(杏林書院)		
関連科目	スポーツビジネス・マネジメント概論、スポーツ経営学、スポーツ行財政論		

授業の目的	<p>日本のスポーツは、学校体育と企業スポーツによって発展してきました。しかしながら、少子化により、学校が統廃合され、不景気により企業がスポーツから撤退と我が国のスポーツを支えてきた大きな柱が傾いてきました。このような危機的な状況の中、スポーツの受け皿として地域社会が注目され始めています。ヨーロッパのスポーツクラブをモデルとしたクラブ事業です。</p> <p>本講義では、地域とスポーツの関わりと重要性について学習します。地域で取り組んでいるスポーツ事業、総合型スポーツクラブ、民間企業について事例をあげ説明していきます。</p>
授業の概要	地域とスポーツの関わりを学びます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：○第1回 我が国のスポーツの発展について</b> 我が国のスポーツの発展の歴史について説明します。	課題・確認
<b>第2週：○第2回 我が国のスポーツ振興基本計画</b> スポーツ振興法、スポーツ振興基本計画について説明します。	課題・確認
<b>第3週：○第3回 我が国のスポーツ振興基本計画</b> スポーツ振興法、スポーツ振興基本計画について説明します。	課題・確認
<b>第4週：○第4回 欧米のスポーツについて</b> 欧米の地域スポーツについて説明します。	課題・確認
<b>第5週：○第5回 欧米のスポーツについて</b> 欧米の地域スポーツについて説明します。	課題・確認
<b>第6週：○第6回 我が国の地域スポーツの現状について</b> 地域スポーツの現状と問題点について説明します。	課題・確認
<b>第7週：○第7回 我が国の地域スポーツの現状について</b>	

地域スポーツの現状と問題点について説明します。	課題・確認
<b>第8週：○第8回 我が国の地域スポーツの現状について</b> 地域スポーツの現状と問題点について説明します。	課題・確認
<b>第9週：○第9回 スポーツ振興のための財源</b> スポーツ振興のための財源について説明します。	課題・確認
<b>第10週：○第10回 総合型地域スポーツクラブ</b> 総合型地域スポーツクラブについて説明します。	課題・確認
<b>第11週：○第10回 総合型地域スポーツクラブ</b> 総合型地域スポーツクラブについて説明します。	課題・確認
<b>第12週：○第12回 総合型地域スポーツクラブ</b> 総合型地域スポーツクラブについて説明します。	課題・確認
<b>第13週：○第13回 総合型地域スポーツクラブ</b> 総合型地域スポーツクラブについて説明します。	課題・確認
<b>第14週：○第14回 スポーツによる地域の活性化1</b> スポーツによる地域の活性化について説明します。	課題・確認
<b>第15週：○第14回 スポーツによる地域の活性化2</b> スポーツによる地域の活性化について説明します。	課題・確認
<b>第16週：期末試験</b> これまでの講義内容を試験範囲とします。試験時間は60分とします。	
<b>授業の運営方法</b>	(1)授業の形式 「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式
	(3)アクティブ・ラーニング
<b>地域志向科目</b>	カテゴリー III:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目
<b>備考</b>	

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	これまで経験してきたスポーツ観にとらわれずに講義にのぞんで欲しい。
<b>【知識・理解】</b>	地域とスポーツの関わり方の現状理解とその可能性を理解する。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	
<b>【思考・判断・創造】</b>	講義で学んだことを地域で活かせるアイデア・企画立案ができることを期待する。

<b>○成績評価基準(合計100点)</b>	合計欄	100点
------------------------	-----	------

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点		
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	70点		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。	20点		
<p><b>(「人間力」について)</b></p> <p>※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p>			

<b>○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安</b>	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	